

## 「テモテを派遣する」

2018年11月17日

テサロニケの信徒への手紙 ー 2章17節～3章5節 兄弟たち、わたしたちは、あなたがたからしばらく引き離されていたので、——顔を見ないというだけで、心が離れていたわけではないのですが——なおさら、あなたがたの顔を見たいと切に望みました。だから、そちらへ行こうと思いました。殊に、わたしパウロは一度ならず行こうとしたのですが、サタンによって妨げられました。わたしたちの主イエスが来られるとき、その御前でいったいあなたがた以外のだれが、わたしたちの希望、喜び、そして誇るべき冠でしょうか。実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。

そこで、もはや我慢できず、わたしたちだけがアテネに残ることにし、わたしたちの兄弟で、キリストの福音のために働く神の協力者テモテをそちらに派遣しました。それは、あなたがたを励まして、信仰を強め、このような苦難に遭っていても、だれ一人動揺することのないようにするためでした。わたしたちが苦難を受けるように定められていることは、あなたがた自身がよく知っています。あなたがたのもとにいたとき、わたしたちがやがて苦難に遭うことを、何度も予告しましたが、あなたがたも知っているように、事実そのとおりになりました。そこで、わたしも、もはやじっとしていられなくなって、誘惑する者があなたがたを惑わし、わたしたちの労苦が無駄になってしまうのではないかという心配から、あなたがたの信仰の様子を知るために、テモテを派遣したのです。

パウロとシラスは、テサロニケのユダヤ人の会堂でキリストの福音を宣べ伝えた。心を開いて、二人の宣教を受け入れ、かなりの者たちがキリストを信じた。しかし、ユダヤ人たちは、パウロたちの宣教を妬み、猛烈に反発し、キリスト信徒になったヤソンの家を襲い、引き立て、ローマ皇帝の詔勅に背いて、イエスという別の王がいると宣教している者たちをかくまっていると騒ぎ立てた。ヤソンたちは保釈金を払い、釈放されたが、危険を感じて、二人を夜の内にベレヤに送り出した。二人はベレヤでも会堂でキリストの福音を語った。ところが、テサロニケのユダヤ人たちはベレヤまで押しかけて来て、群衆を扇動し、パウロたちの宣教を妨害した。テサロニケの信徒たちは、このように激しく反発するユダヤ教徒の中に置かれたのである。パウロは、彼らのことが心配でならなかった。

パウロは、「兄弟たち」と呼びかけ、顔を見ないというだけで、心は離れていないのだが、私たちは引き離されているので、あなたがたの顔を見たいと切に望んでいる。殊に、パウロはテサロニケに再三行こうとしたけれども、サタンによって妨げられた。パウロは突然、語調を変え、「わたしたちの主イエスが来られるとき、その御前でいったいあなたがた以外のだれが、わたしたちの希望、喜び、そして誇るべき冠でしょうか。実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです」と、愛と信頼を語りかけている。

アテネに来たパウロは心配で我慢できず、キリストの福音のために働く神の協力者テモテをテサロニケに派遣した。「それは、あなたがたを励まして、信仰を強め、このような苦難に遭っていても、だれ一人動揺することのないようにするためでした。」苦難を受けることになると何度も予告してきたが、事実その通りになった。「わたしも、もはやじっとしていられなくなって、誘惑する者があなたがたを惑わし、わたしたちの労苦が無駄になってしまうのではないかという心配から、あなたがたの信仰の様子を知るために、テモテを派遣したのです。」牧会者パウロの心が伝わってくる。